

# 令和3年度（令和4年度入学） 学校説明会



練馬区立練馬中学校

# 学校長挨拶

## 校訓「不惜精進」

### 教育目標

- 自主 自分で考え、判断し、行動できる人
- 勤勉 何事にもまじめで、一生懸命取り組む人
- 共生 互いを認め、助け合って生きることのできる人

## 《One Step Forward》

書面でのご挨拶になりますこととお詫び申し上げます。  
今回、緊急事態宣言下にあつて、より強い感染防止対策をとるため、説明会を中止とさせていただきます。2学期には、部活動体験などを通して、本校の雰囲気を感じ取って頂く機会を設定していましたが、中止としました。楽しみにしていたお子様たちには、申し訳なく思っています。昨年に続き、DVDを作成していますので、完成しましたら連携小学校に送らせていただきます。ご視聴いただければ幸いです。

練馬区では、小中の円滑な接続が図られておりますが、人が成長する上ではその段差も必要であり、登らなければなりません。私たち教職員は、その背中を押してあげられるよう、生徒たちに寄り添い、支援していきます。保護者の皆様にも、ご理解いただければ幸いです。

本校の校訓は、「不惜精進」（たゆまぬ努力を怠らないこと）。また、「学びを力にかえる学校」を目指しています。学校は、「夢や目標を持ち、困難を乗り越える力を備えた子供たちの育成」という練馬区の教育目標の実現のため、必要な資質・能力を育てていきます。まず、日々の授業を大切にします。学んだ知識を生かして、様々な課題をよりよく解決するため、考え抜く力、判断する力、実践する力がどう身についてきたか、評価します。そして、義務教育最後の3年間、様々な行事や活動をとおして、自主・勤勉・共生の旗のもと、子供たちの成長を支援します。更に、相談機関として、スクールカウンセラー、特別支援教育コーディネーター、特別支援教室専門員、心のふれあい相談員が配置されています。必要に応じて、練馬区学校教育支援センターとも連携します。困ったら、まず相談してください。

最後に、私立中学等、他校への進学をお考えの保護者様におかれましては、進学者数でクラス数・教員数も決まるという現実がございます。本校の指定を受けていて、他校への進学が決まりましたら、早めに区役所学務課に連絡をお願いします。よろしくをお願いします。

練馬区立練馬中学校長 日下石 直美

## 学校生活（学習面）について



Q **小学校**  
と  
**中学校の違い**

授業が50分になる  
9教科となり、技術家庭科・美術などが入る  
部活動が始まる

学校生活で大きく変わることは、制服を着て登校することと授業時間が50分になることです。また、教科の呼び名が変わり新入生は当初戸惑うこともあります。

部活動に入った生徒は放課後に18：00頃まで運動やその他の活動に取り組み、学校で過ごす時間が増えます。

## 学習面についての取り組み

- ①登校後、自席にて朝の10分間を活用して「朝読書」「朝モジュール学習」に取り組んでいます。
- ②夏休みには、地域の大学生による「学力補充教室」を実施しています。
- ③学力到達度調査や授業アンケートを行い、授業改善に活用しています。

学習面での取り組みとして練馬中学校では、朝の10分間に読書や学習を行い基礎学力の向上・定着を目指します。また、学習が苦手な生徒には、夏休みに学力補充教室として学習支援を行います。また、学力到達度調査や生徒への授業アンケートを行い、指導方法の工夫・改善を行っています。

項目	小学校	中学校
授業時間	45分	50分
授業形態1	専科（理科・図工・音楽・家庭科・外国語活動など）以外は担任の先生が担当。	<b>教科担任制</b> →授業ごとに先生が変わり、 <b>学習する場所も変わる。</b>
授業形態2	算数少人数展開。	数学・英語の少人数展開 2クラスを3展開
宿題は？	担任の先生が決められた宿題を出す。 （音読とドリルなど）	教科担当がそれぞれ出す → <b>個人でしっかりと把握する必要あり。</b>
テストは？	学習の区切りで業者作成のテスト。	定期考査となり、年間4～5回行われる。 教科担任が作成。

小学校と中学校の違いを表にまとめてみました。

授業形態は、教科担任制に変わり、教科により教室だけで授業は行わず、学習をする教室が様々な場所で行われるため、休み時間に教室移動を行います。小学校でも行っていたかとは思いますが、数学・英語の2教科で少人数での授業を行い、基礎学力の向上・定着を目指しています。

宿題については、小学校の時のように担任の先生が決められたルーティンのもの（音読とドリルやワークなど）ではなく、教科の先生が必要な宿題を出していくため、個人での管理がととても大切になります。

そのために、小学校では連絡帳で行っていた次の日の持ち物管理のノートが中学校では「タイムくん」「デイリーライフ」などといった日課帳形式の物となり、終学活の時などに教科係から伝達されたものを記録し、提出物を個人で管理していきます。入学当初は家庭での支援があると子供たちはスムーズに流れに乗ることができると思います。

テストは、小学校の時のような業者テストではなく先生方が作った物を決められた期間に行う定期考査の形で行われます。テストのタイミングも単元終了時ではなく、一定の期間に学んだ部分をまとめて出題されます。テスト期間中は、1週間前から部活動を停止し学習に力を注ぎます。テストの結果は答案返却だけでなく、各家庭に「学習の記録」として点数をまとめたものと度数分布表を配布し、各家庭でテストの振り返りと次のテストに向けての目標などについてお話をさせていただく題材とします。

# 定期考査について

令和元年度 定期考査実施内容 ※令和3年度は1学期中間は行いませんでした。

	1学期 中間		1学期 期末			2学期 中間		2学期 期末			学年 末		
	①	②	①	②	③	①	②	①	②	③	①	②	③
1	理	社	社	理	英	数	国	英	社	数	英	数	国
2	国	数	数	国	音	理	英	国	理	技 家	理	社	体
3	英		体	技 家		社		音	体		技 家	美	

1日に2～3教科、行います。試験2週間前頃を目安に試験範囲が配られます。試験1週間前は、部活動が中止となります。

定期考査は、一昨年度5回行いました。昨年度は休校期間があったため、変則的でした。

今年度は、1学期の中間考査を行わず年間4回の定期考査となりました。このように試験を行う教科で時間割を組み1日に2～3時間テストを行います。

# 通知表について

## 学習の記録

教科	学習のめあて	よくできる	できる	もうすこし
国語	知識・技能	○		
	思考・判断・表現	○		
	主体的に学習に取り組む態度	○		
社会	知識・技能	○		
	思考・判断・表現	○		
	主体的に学習に取り組む態度	○		
算数	知識・技能	○		
	思考・判断・表現	○		
	主体的に学習に取り組む態度	○		
理科	知識・技能	○		
	思考・判断・表現	○		
	主体的に学習に取り組む態度	○		
音楽	知識・技能	○		
	思考・判断・表現	○		

小学校では、各観点で  
「よくできる」  
「できる」  
「もうすこし」  
という3段階での評価  
をしていました。



中学校では・・・

通知表については、小学校の形式と変わり「評価」と「評定」が付きまます。

## 通知表について

### 学習の記録

教科	観点別学習状況	評価	評定
国語	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
社会	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
数学	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
理科	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
	知識・技能		

各観点を  
「A」「B」「C」  
の3段階で評価し、そ  
の評価を基に評定が  
「5」「4」「3」  
「2」「1」  
の5段階で示されます。



**進路指導に向けて**

各教科の観点について、「A・B・C」で評価を行いそこから「5・4・3・2・1」で評定を行います。この「評価・評定」は、3年生で迎える受験で使われるものとなります。この評価・評定は、定期考査での得点だけでなく、普段の授業の取り組みの中で行われるワークシートや小テストなど様々な観点から評価していきます。

このことから、中学校に入ると学習についての得意・不得意がよりはっきりと分かるようになり、それに向けて自分で課題を発見しそれをクリアしていくためにどのような努力が必要かを考え、実際に学習をしていくこととなります。

中学校の学習は、小学校で学んだことをベースにして学習が進んでいきます。もし、小学校の学習につまずきがあるのならば、中学校入学に向けて復習をすることも大切な学習だと思います。また、中学校入学後も学習面でどこがつまずいているポイントなのかをしっかりと見極めて学習していくこともとても大切です。



# キャリア教育について

義務教育終了後の進路へ向けて

将来の自分の目標を見つける

⇒進路指導・キャリア教育

自分探し・職業学習 (1年)

職場体験(2年)

上級学校訪問(2・3年)

**進路の実現**

中学校3年間を終えると義務教育が終了となり、いよいよ自分の進路決定に向かいます。その進路決定に向けて、中学校では「キャリア教育」として、職業についての学習や上級学校についての学習を進めていきます。自分の得意なことややりたいこと、興味のあることを将来の職業として考えていくときに、中学生の今、どのような力をつけていくのか、そういったことを様々な角度から見つめて、「生きる力」を身につけていきます。

## 中学校生活での学習について ～まとめ～

中学校卒業後の次のステージは自分で見つける!

それに向けた「自分探しの旅」が中学校。

学習だけでなく、あらゆる学校生活の場面が学びの場です。

練馬中学校を卒業していく、その先の新しい入り口を見つけられる、そんな充実した3年間を見つけれられるように……

中学校を卒業し、自分の希望とする道への第1歩が始まります。高等学校をはじめとする上級学校に進学したり、自分の得意なことを生かして就職するなど、次の人生のステージに向けて「自分探しのたび」を中学校3年間で行っていきます。

充実した3年間で練馬中学校で送ることができるよう、生徒の皆さんを支援してまいります。